

（鯖街道熊川宿 説明看板：旧逸見勘兵衛家）

へん みかん べ え 逸見勘兵衛の旧邸宅

この建物は、江戸時代（1603 年～1867 年）に熊川宿という宿場町の裕福な住民に好まれた町家の代表的な例です。ここはかつて熊川の初代の長であった逸見勘兵衛（へん みかん べ え 1842 年～1909 年）の邸宅でした。歴史的な建築図面によれば、主屋はもともと 1858 年に建てられました。敷地内には、小さな酒蔵や庭園があり、そして裏手には大規模な本の収集に使用された蔵がありました。

この邸宅は 1994 年に逸見家の子孫から若狭町へ寄贈されました。1995 年に町の有形文化財に指定され、3 年をかけて大規模な修繕工事が行われました。復元されたこの邸宅は、熊川宿の古い建物を、後世のために伝統的な外観を維持しながら、現代の生活のニーズを満たすために改良する方法の例となりました。

現在、この建物には、宿泊施設、カフェ、土産物店が入っています。カフェの営業時間中（週末と祝日、春から秋）、訪問者は小額の料金で伝統的な家を探索することができます。